

平成 2 0 年度

# 事業概要

国土交通省 東北地方整備局  
北上川下流河川事務所

## ～ 目 次 ～

事業の方針	1
事業のポイント	2
管内河川及び主要事業位置図	3
主要事業の概要	4
北上川河川歴史公園整備事業	7
日根牛地区河川改修事業	8
鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業	9
水害に強いまちづくり事業	10
河川の維持修繕事業及び工作物関連応急対策事業	11

# 事業の方針

国土交通省北上川下流河川事務所は、北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など総延長 210.5km におよぶ直轄区間の改修工事・維持管理等を実施しています。

平成 20 年度は、約 80 億 9 千万円の予算をもって、安全で安心できる社会基盤の形成、良好な水辺環境の保全、さらには個性豊かで活力ある地域づくりの支援を目指して事業の推進を図ります。

平成 20 年度 北上川下流河川事務所事業費総括表

(単位:百万円)

予 算 科 目		平成 20 年度		平成 19 年度		H 20 / H 19 (当初比)		備考
		当初		当初				
		北上川水系	計	北上川水系	計	北上川水系	計	
		鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		鳴瀬川水系		
河川改修費	一般改修	1,061.0	4,455.0	1,393.0	3,991.0	0.76	1.12	鳴瀬川中流緊急対策特定区間事業 2,114百万円
		3,394.0		2,598.0		1.31		
	特定構造物 改築事業	-	-	172.0	-	-	-	
		-		-		-		
河川維持修繕費		1,719.1	3,127.6	1,740.2	3,165.6	0.99	0.99	
		1,408.5		1,425.4		0.99		
河川工作物関連 応急対策事業費		204.0	316.6	175.5	283.2	1.16	1.12	
		112.6		107.7		1.05		
総合水系 環境整備事業		195.7	195.7	161.0	161.0	1.22	1.22	
		-		-		-		
合 計		3,179.8	8,094.9	3,641.7	7,772.8	0.87	1.04	
		4,915.1		4,131.1		1.19		

災害復旧事業費・受託工事費・調査費等は除く

# 事業のポイント

平成 20 年度の国土交通省の予算配分においては、

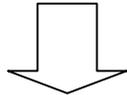
- 1 ) 国際競争力の強化と地域の活性化
- 2 ) 地球環境問題と少子高齢化への対応
- 3 ) 国民の安全・安心の確保

など当面する課題に対応する事業に重点を置くこととし、質の高い住宅・社会資本整備を効率的・効果的に推進します。

東北地方整備局ではこの方針を踏まえ、

【目指すべき将来の姿】

**「強く美しい東北」を目指して**



【実現するための基本方針】

1. **安全で安心できる地域づくり**
2. **強い東北の創造**
3. **美しい東北の実現**
4. **魅力ある都市づくり**

を実現するため、河川・道路・港湾等の社会資本整備を重点的かつ効率的に進めていくこととしています。

北上川下流河川事務所では、これらの基本的な考えを踏まえつつ、以下の主要事業を実施します。

## 主要事業

北上川河川歴史公園整備事業

日根牛地区河川改修事業

鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業

水害に強いまちづくり事業

河川の維持修繕事業及び工作物関連応急対策事業

# 管内河川及び主要事業位置図



# 主要事業の概要

## 河川整備事業

### 北上川水系

#### ・北上川

北上川では、今年度より日根牛地区河川改修事業（登米市登米町）に着手します。堤防の高さや幅が不足しているため断面の確保を行う計画であり、今年度は堤防整備を促進するため用地取得等を実施します。

また、旧北上川分流施設が平成 19 年度に完成し、今後、分流施設下流における北上川の堤防強化（完成高整備）を行います。

#### ・江合川

大崎市福沼地区において、堤防の質的整備を実施します。

### 鳴瀬川水系

#### ・鳴瀬川

鳴瀬川は自流域の洪水に加え、江合川の洪水を受け入れて安全に流下させる計画になっています。この計画に基づき、鳴瀬川中流部緊急対策特定区間（宮城県遠田郡美里町、大崎市、東松島市）の整備事業については河道掘削及び堤防の完成堤化を図ります。

今年度は、鳴瀬川中流部緊急対策特定区間の整備を促進するため、右岸地区の用地取得及び試験施工、左岸地区の築堤工事を実施します。

#### ・吉田川

水害に強いまちづくり事業は昭和 61 年 8 月の吉田川の洪水により大きな被害を受けた地区（大崎市鹿島台・黒川郡大郷町・宮城郡松島町）において、洪水により河川がはん濫した場合、はん濫の拡大を防ぎ被害を最小限にとどめるための「二線堤」、洪水時の現地対策本部・緊急用資材置場・水防活動拠点、周辺住民の避難地としての機能を持つ「水防災拠点」等の施設を総合的に整備する事業です。

今年度は、国道 346 号鹿島台バイパスの早期供用に向け、バイパス起点部の現道への摺付け、現道区間の嵩上げ、県道鹿島台・鳴瀬線の切廻し、跨線橋橋台背面盛土を実施します。

また、大崎市鎌巻地区において、堤防の質的整備を実施します。

## 総合水系環境整備事業

総合水系環境整備事業は、流域全体の視点から河川とダムの連携を図りながら水系一環した環境整備を図る事業です。

## 北上川河川歴史公園整備事業（河川利用推進事業）

今年度は昨年度に引き続き、歴史的構造物を生かした北上川河川歴史公園整備事業（登米市豊里町・津山町、石巻市桃生町）を登米市と協働で推進します。このうち当事務所では高水敷整正・緩傾斜堤防等の整備を実施します。

## 魚がすみやすい川づくり事業（自然再生事業）

今年度は昨年度に引き続き、北上川下流域で魚類の遡上に障害となっている施設（登米市豊里町・津山町）を改善し、魚がすみやすい川づくりを目指した自然再生事業に着手します。本年度は、基礎資料収集のため魚類等の遡上実態調査・検討及び魚道の設計を実施します。

## 河川の維持修繕事業

河川維持修繕事業は、管内の河川管理区間延長 210.5 km について、洪水等による災害発生の防止、適正な河川の利用及び流水の正常な機能の維持を図るため、維持管理及び修繕を実施します。

## 河川工作物関連応急対策事業

河川工作物関連応急対策事業は、堤防・護岸・樋門・樋管等の河川管理施設等について詳細点検に基づき応急的に改善措置を実施するものです。

## 北上川水系河川整備計画の策定

「北上川水系河川整備計画」は平成 18 年 11 月に策定された「北上川水系河川整備基本方針」に沿って当面 30 年間に実施する河川工事事の目的、種類、場所等の具体的事項を示す計画です。

この計画については、学識者等の意見を反映させるため懇談会を平成 19 年 5 月に設立しており、今後、具体的な整備内容について地方公共団体、地域住民等から意見を聴き、今年中を目処に策定する予定です。

## 河川の調査

### 洪水予報

洪水による水害を防止、軽減し、沿川住民の安全を図るため、气象台と共同し、当事務所管内河川について、洪水予報の発表を行うとともに、水防活動のための水防警報の発表を行います。

## 雨量、水位・流量観測

河川計画・河川管理のための基礎データ収集および洪水対策を目的として、管内 14 箇所に雨量計を 37 箇所に水位計を設置し、自動的に観測しており、リアルタイムでデータが事務所に送られ、洪水時には河川の状況をいち早く把握して、洪水予報を行います。

流量観測については、管内 17 箇所で行っており、雨量や水位のデータとともに河川計画や河川管理上の基礎資料に用いています。

## 堤防調査

北上川・鳴瀬川において、計画高水位以下の水位時における耐浸透機能及び耐浸食機能に関する河川堤防の所要の安全性を確保するための堤防調査を実施します。

## 河川水辺の国勢調査

河川には、種々の魚や鳥、昆虫、動物、植物などが生息しています。水と緑のあふれる河川は人やもちろん生物にとっても他に代え難い貴重な空間です。潤いのある豊かな河川を保全していくためには、今後なお一層、河川の環境に配慮していくことが必要です。

このため国土交通省では、全国 109 の一級水系を中心に河川を環境という観点からとらえた定期的・継続的・統一的な河川に関する基礎情報の収集整理を行う「河川水辺の国勢調査」を平成 2 年度から実施しています。

北上川水系（北上川・旧北上川・江合川）

平成 19 年度は底生動物の調査を実施しました。今年度は河川環境情報の基礎となる河川環境基図の作成を実施します。

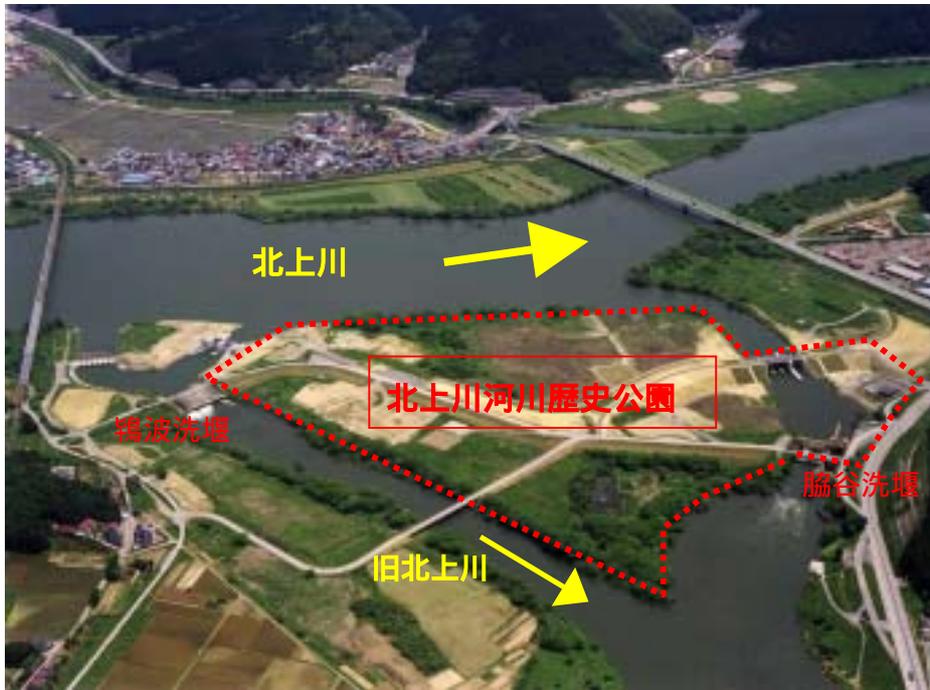
鳴瀬川水系（鳴瀬川・吉田川）

平成 19 年度は陸上昆虫類等の調査を実施しました。今年度は魚類の調査を実施します。

(主要事業の概要)

# 北上川河川歴史公園整備事業

いしのまきし とめし  
(石巻市・登米市)



## 計画概要

着手年度 : 平成 18 年度  
事業内容 : 高水敷整正・低水護岸等  
平成 20 年度事業費 : 173 百万円

## 事業概要

登米市豊里町鴨波及び石巻市桃生町脇谷地点にある鴨波洗堰及び脇谷洗堰は、北上川・旧北上川の分流機能を担う重要な施設で昭和 7 年に完成しました。

現在、両洗堰の上流には新しい施設が完成しましたが、昭和初期に完成した現施設は、我が国の分流技術の黎明期に建設され他に類例がない希少なもので土木学会の「選奨土木遺産」に認定されています。

北上川下流河川事務所では、平成 18 年度よりこれらの歴史的構造物を活かした河川歴史公園の整備に登米市と協働で着手しています。このうち当事務所では高水敷整正・護岸等の基盤整備を実施します。

公園計画の素案は、一般公募等で選ばれた方々によるワークショップを平成 15 年度から 7 回開催し検討してきました。

平成 20 年度は坂路や管理施設、低水護岸等の整備を実施する予定です。

(主要事業の概要)

# 日根牛地区河川改修事業

とめし  
(登米市)



## 計画概要

着手年度 : 平成 20 年度

計画諸元 : 堤防拡築

平成 20 年度事業費 : 300 百万円

## 事業概要

北上川の右岸、登米市日根牛地区の堤防は幅や高さが不足しているほか堤外地（注）に家屋が存在しており、近年では平成 10 年、平成 14 年、平成 19 年と頻繁に浸水被害が生じています。このため、宮城県・登米市と連携して堤防整備を進め、浸水被害の解消と治水安全度の向上を図るものです。

今年度は、用地の取得を促進し事業の推進を図ります。

（注）堤外地：堤防を境に河川側の敷地を、堤防よりも外側という意味で「堤外地」と言う。

## 関連事業

一般国道 342 号改築（宮城県）

県道東和登米線改築（宮城県）

大橋周辺地区整備事業（登米市）

(主要事業の概要)

# 鳴瀬川中流部緊急対策特定区間事業

とおだぐんみさとちょう おおさきしかしまだい ひがしまつしまし  
(遠田郡美里町、大崎市鹿島台、東松島市)



## 計画概要

着手年度 : 平成 15 年度～平成 24 年度

計画諸元 : 河道掘削・堤防拡築

全体事業費 : 約 19,200 百万円

平成 20 年度事業費 : 2,114 百万円

## 事業概要

宮城県北部低平地域を流れる北上川や鳴瀬川など流域全体の治水安全度の向上を図るためには、旧北上川分流施設の整備完了による北上川から旧北上川へのゼロ分派の実現に加え、江合川から鳴瀬川への分派量の増大を図ることが必要となっています。

本事業は、江合川（新江合川）からの分派量増に先立ち、鳴瀬川の治水安全度の向上を図るものであり、鳴瀬川中流部の河道掘削及び堤防拡築を集中的・効率的に行うものです。

今年度は、遠田郡美里町・東松島市(左岸側)において、築堤工事に本格的に着手します。また、大崎市鹿島台(右岸側)については、本格的な工事着手に向けた試験的な築堤工事を実施するほか、用地取得を促進し事業の推進を図ります。

(主要事業の概要)

# 水害に強いまちづくり事業

おおさきしかしまだい くろかわくんとおさとちよう みやぎくんまつしままち  
(大崎市鹿島台・黒川郡大郷町・宮城郡松島町)



## 計画概要

着手年度 : 平成2年度  
計画諸元 : 二線堤約7.4 km・水防災拠点1箇所(約2.6 ha)  
全体事業費 : 約22,000百万円(国)  
平成20年度事業費 : 665百万円(国)

## 事業概要

昭和61年8月の吉田川の洪水により大きな被害を受けた地区(大崎市鹿島台・大郷町・松島町)において、洪水により河川が氾濫した場合、氾濫の拡大を防ぎ被害を最小限にとどめるための「二線堤」、洪水時の緊急用資材置場、水防活動拠点、周辺住民の避難地としての機能を持つ「水防災拠点」等の施設を総合的に整備する事業です。

今年度は、国道346号鹿島台バイパスの早期供用に向け、バイパス起点部の現道への摺付け、現道区間の高上げ、県道鹿島台・鳴瀬線の切廻し、跨線橋橋台背面盛土を実施します。

事業実施により

快適生活拠点都市の形成

無秩序な氾濫地域への宅地化進展の防止

バイパス機能を持つことから市街地の交通渋滞の緩和

等の効果が期待されます。

## 関連事業

国道346号道路改良事業(宮城県)

(主要事業の概要)

# 河川の維持修繕事業及び工作物関連応急対策事業

(北上川・旧北上川・江合川・鳴瀬川・吉田川など総延長210.5km)



排水機場の耐震補修を実施



樋門等管理施設の津波対策を継続実施

## 計画概要

平成 20 年度河川維持修繕事業費

・北上川水系：1,719.1 百万円、鳴瀬川水系：1,408.5 百万円

平成 20 年度河川工作物関連応急対策事業費

・北上川水系：204.0 百万円、鳴瀬川水系：112.6 百万円

## 事業概要

河川維持修繕事業は、管内の河川管理区間延長 210.5 km について、洪水等による災害発生の防止、適正な河川の利用及び流水の正常な機能の維持を図るため、維持管理及び修繕を実施します。

今年度は昨年度に引き続き、堤防・護岸・樋門・樋管等の河川管理施設の機能維持を図るため、堤防除草（約 20 百万 $m^2$ ）・堤防天端補修・護岸補修・樹木等伐採・塵芥処理・北上大堰及び鳴瀬川中流堰・桑折江堰等大規模施設の操作管理及び点検補修、樋門樋管 164 箇所での操作、河川全般を監視する河川巡視等の業務を実施します。

また、排水ポンプ車（30 $m^3$ /分×3台、60 $m^3$ /分×3台、計6台）及び照明車（4台）を配備し、災害発生時における機動的な内水排除作業を実施します。

河川工作物関連応急対策事業は、堤防・護岸・樋門・樋管等の河川管理施設等について詳細点検に基づき応急的に改善措置を実施するものです。

今年度は、これまでに実施した樋門等の周辺堤防点検結果を基に、小口径樋管（管径 1.0m未満）の補修や操作台への上屋設置等を行います。また、高い確率で発生が予測されている宮城県沖地震などの津波の浸水被害軽減のため、水門・樋管の逆流防止対策を昨年度に引き続き実施し完成を目指します。

**お問い合わせ**

**国土交通省 東北地方整備局  
北上川下流河川事務所 調査課**

〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼 80  
TEL 0225-94-9847(直通) FAX 0225-94-9857